

2026年1月8日

報道関係者各位

市民メディア全国交流集会よこはま 2026 実行委員会
実行委員長 船本 由佳

誰もが発信できる時代 わたしが考える市民メディア

「第20回市民メディア全国交流集会よこはま 2026」1/24(土)・25(日)横浜にて開催!

市民メディア全国交流集会よこはま 2026 実行委員会（横浜市／実行委員長 船本由佳）は、2026年1月24日（土）・25日（日）の2日間、横浜市内の複数会場で、「第20回市民メディア全国交流集会よこはま 2026」を開催します。



「市民メディア全国交流集会（通称：メディエス）」は、2004年に第1回が名古屋で開催されて以来、各地を持ち回りで開催し、今回で20回目を迎えます。横浜では、2006年以來の開催となります。

「メディエス横浜」は、情報発信に関心のあるすべての方が対象です。SNS発信、地域団体による情報発信・メディア活動をテーマに、交流・発表・議論の場になっています。コミュニティFM、ケーブルTV、タウン誌、Webメディアなど、さまざまなかたちで活動するローカルメディア情報発信者をつなぎ、ノウハウや課題を共有することが目的です。



今回の「市民メディア全国交流集会よこはま 2026」は、1日目は、東京都市大学横浜キャンパス、2日目は、日本丸メモリアルパーク訓練センターをそれぞれメイン会場とし、そのほか横浜らしい複数の会場をむすぶ、回遊型イベントとして実施します。5つのメインセッションと2つのワークショッププログラム、2つの展示企画、5つの分科会企画、2つの連携企画で構成します。

報道関係の皆様には、取材ならびに広報にご協力いただけますよう、何卒よろしくお願いたします。

【実施概要】

- ▶ **名称**：「第20回市民メディア全国交流集会よこはま 2026」 略称：「メディエス横浜 2026」
- ▶ **全体テーマ**：誰でも発信できる時代 わたしが考える市民メディア～発信する市民が増えると地域が豊かになる～
- ▶ **開催日**：2026年1月24日（土）・25日（日）
- ▶ **会場**：下記以外の会場でも実施調整中です。

| 日程 | メイン会場 | サブ会場（インフォメーションセンター） | サテライト |
|---------|-------------------|---------------------|-----------------------|
| 1/24(土) | 東京都市大学横浜キャンパス | ニュースパーク（日本新聞博物館）・ | I'm home |
| 1/25(日) | 日本丸メモリアルパーク訓練センター | 象の鼻テラス | 泰生ポーチフロント・ 横浜市寿生活館 |

▶ **参加費**：事前に Peatix からお申し込みください。 <https://peatix.com/event/4742963>

- 参加費（2日通し券）/3,000円 交流会付き2日通し券/5,500円 ※高校生以下 無料
- 交流会（24日夜）のみ参加券/3,000円 大学生/1,000円 遠隔参加/3,000円

□寄付付きチケット B 8,000 円 □寄付付きチケット C 13,000 円

※懇親会では、軽食とドリンク 1 杯を提供します。2 杯以上希望の方は、キャッシュオンにて対応可能です。

※遠隔参加者には、お申し込み後、事前に参加 URL をお知らせします。

※当日は、メイン会場またはサブ会場にて受付を行って参加証（缶バッジ）を受け取ってください。それ以降は参加証を見えるところにつけてください。

▶主催：市民メディア全国交流集会よこはま 2026 実行委員会

▶後援：横浜市、東京都市大学、東海大学広報メディア学科、ニュースパーク（日本新聞博物館）、
神奈川新聞社 ほか（順不同）

▶公式サイト：<https://medifes.info/>

▶お問合せ：

市民メディア全国交流集会よこはま 2026 実行委員会 jimukyoku.medifes2026@gmail.com

▶キービジュアル：



■タイムスケジュール ※12月29日現在のプログラムです。都合により変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

<24日/ DAY1>

メイン会場：東京都市大学横浜キャンパス

- ① 10:00-10:30 オープニングセッション
- ② 10:30-12:30 <メインセッション1>「子ども・若者とメディア」
- ③ 14:00-16:30 <メインセッション2>「メディアリテラシーと市民メディア」
- ④ 16:30-17:30 <ディスカッション>「市民メディアのこれから」
- ⑤ 13:30-15:00 <分科会>「学生による放送、YouTube 番組制作と配信の今を語る」
- ⑥ 15:30-16:30 <分科会>「横浜のコミュニティ FM 大集合」（プレセッション）

サブ会場：ニュースパーク（日本新聞博物館）

- ⑦ 10:00-17:00 NIE 全国大会／市民メディアポスター展示
- ⑧ 13:30-16:00 <ワークショップ>「しまんと新聞ばつぐを作ろう」

サブ会場：象の鼻テラス

- ⑨ 12:00-18:00 <展示> 市民メディア全国交流集会 20 年史展示
- ⑩ 18:30-20:30 集まれ市民メディア！ショートプレゼン大会&交流会

交流会への参加は、「交流会付き 2 日通し券 ¥5500」または「交流会（24 日夜）のみ参加券 ¥3000」のご購入が必要です。

サテライト：I'm home

- ⑪ 12:00-21:00 <展示>「ジャズと街の記憶と記録」企画展（ちぐさ保存会連携企画）

<25日/ DAY2>

メイン会場：日本丸メモリアルパーク訓練センター

- ① 11:00-12:00 <メインセッション3>「横浜のコミュニティ FM 大集合」
- ② 13:00-15:00 <メインセッション4>「震災とコミュニティメディア」
- ③ 15:15-16:45 <メインセッション5>「市民メディアの持続可能性」
- ④ 17:00-17:45 クロージングセッション

サブ会場：ニュースパーク（日本新聞博物館）

- ⑤ 10:00-16:30 NIE 全国大会／市民メディアポスター展示
- ⑥ 10:30-12:00 集まれ！市民メディア・ポスターセッション
- ⑦ 13:00-14:00 「ひらく、つながる、流されず」市民メディアの多様性（連携企画）
- ⑧ 14:00-15:30 <ワークショップ> 市民ライターのローカルメディアコンパス体験会

サブ会場：象の鼻テラス

- ⑨ 10:00-17:00 <展示> 市民メディア全国交流集会 20 年史展示

サテライト：横浜市寿生活館

- ⑩ 11:00-12:30 <分科会> 今読む『Desining Ours 自分たち事のデザイン』
- ⑪ 13:00-14:00 <分科会> “ことぶき”を知ろう！“ことぶき”を考えよう！

サテライト：泰生ポーチフロント

- ⑫ 11:00-16:30 <分科会> 横浜発「市民メディアの映像作品ショーケース」

サテライト：I'm home

- ⑬ 12:00-20:00 <展示>「ジャズと街の記憶と記録」企画展（ちぐさ保存会連携企画）

■会場について

| 会場名 | 所在地 | アクセス | URL |
|-----------------------|---------------------------|--|---|
| 東京都市大学 横浜キャンパス | 横浜市都筑区牛久保西 3 丁目 3-1 | 横浜市営地下鉄ブルーライン「中川（東京都市大 横浜キャンパス前）」 | https://www.tcu.ac.jp/campuslife/introduction/yokohamaampus/ |
| 日本丸メモリアルパーク 訓練センター | 横浜市西区みなとみらい 2 丁目 1-1 | J R・横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅 徒歩 5 分、みなとみらい線「みなとみらい」駅 徒歩 5 分・「馬車道」駅 徒歩 5 分 | https://www.nipponmaru.or.jp/access/ |
| ニュースパーク （日本新聞博物館） | 横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター | みなとみらい線「日本大通り」駅 3 番出口直結、J R・横浜市営地下鉄ブルーライン「関内」駅 徒歩 10 分 | https://newspark.jp/information/ |
| 象の鼻テラス | 横浜市中区海岸通 1 丁目 | みなとみらい線「日本大通り」駅 出口 1 徒歩約 3 分・出口 2 徒歩約 5 分 | https://zounohana.com/access/ |
| 横浜市寿生活館 | 横浜市中区寿町 3 丁目 1 2 番地 2 | 横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅 徒歩 10 分、JR 根岸線「石川町」駅 徒歩 7 分 | https://www.yokohama-kotobuki.or.jp/seikatukan |
| 泰生ポーチフロント | 横浜市中区相生町 2 丁目 52 泰生ポーチ 1F | J R・横浜市営地下鉄「関内」駅 徒歩 5 分、みなとみらい線「馬車道」駅 徒歩 5 分 | https://taisei-pochi.taiyusha.co.jp/ |
| I'm home | 横浜市中区相生町 3 丁目 61 泰生ビル 1F | J R・横浜市営地下鉄 ブルーライン「関内」駅 徒歩 5 分 | https://artstudio.work/im_home/ |

■プログラム詳細 ※ 事情により出演者や内容などに変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。

<メインセッション 1>「子ども・若者とメディア」

東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階 学生カフェ 1/24 (土) 10:30-12:30

子どもメディアの現状と運営者と子ども記者からの事例発表

1. 全国の草の根子どもメディアの実態 (2020) と現在: 中村雅子 (東京都市大学メディア情報学部 社会メディア学科 大学院環境情報学研究所 環境情報学専攻 教授)

2. 子どもメディア運営者からの報告


① つづき&MM ジュニア編集局 (NPO 法人ミニシティプラス: 岩室晶子+ジュニア記者)

② 石巻日日子ども新聞 (一般社団法人こどもみらい研究所: 太田倫子+子ども記者/オンライン参加)

③ かめおか子ども新聞 (竹内 博士+子ども記者/オンライン or リアル参加)

3. 子どもメディアえんたくん会議: 会場の参加者を4人くらいのグループに分けて、えんたくんを囲んでディスカッションを行います。

※「えんたくん」とは直径が1メートル程の丸いダンボールの板です。人々が円座になって、ひざの上に「えんたくん」をのせると「場」と「対話」が劇的に変化します。



<分科会> 学生による放送、YouTube 番組制作と配信の今を語る

東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階 学生カフェ 1/24 (土) 13:30-15:00

大学生が語る番組制作と情報発信の今

メディアエスがスタートした当初、学生によるコミュニティ FM、CATV 等での番組制作が注目され、学生の発信をテーマに多くの分科会が開催されました。近年、YouTube が普及する中、そうした取組は目立たなくなりましたが、今日もなお各大学を拠点に学生の番組制作は継続しています。また「ReHacQ」、「ABEMA Prime」等をモデルに、学生による新たな形の YouTube のトーク番組も制作されるようになりました。この分科会では、近年の学生の放送、YouTube 番組制作と配信を紹介し、その可能性について語ります。

出演: 松浦さと子 (龍谷大学)
 松浦哲郎 (龍谷大学) 摂南大学と龍谷大学の学生有志

司会: 松本恭幸 (摂南大学)

<メインセッション2> 「市民メディアでメディアリテラシー！」

東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階 学生カフェ 1/24 (土) 14:00-16:30

市民メディアがメディアリテラシー教育を担おう！

既存メディアがリテラシーを説くと「お前が言うな」と批判され、一方 SNS は情報汚染が進み、生成 AI はフェイク技術に転用され…混乱は深まるばかり。しかし市民メディアは、敵視もされず無責任ともみなされていない。だからこそ「メディアリテラシー教育を担う主体」として寄与することはできないか？ プレゼンターの 下村健一 (『想像力のスイッチを入れよう』著者: 小学5年国語教科書 (光村図書: 横浜市の公立小で使用) 所収) が、各地の学校で実践している訪問授業を 模擬形式で再現。その後討論者が、各々模索するメディアリテラシーの取組みを報告。安定した情報社会の実現のためにすべきことを、参加者と共に考えます。

出演: 下村健一 (白鴎大学特任教授、令和メディア研究所主宰、元 TBS キャスター)
 北原まどか (NPO 法人森ノオト理事長)
 増田芽衣 (東海大学広報メディア学科教授)

| | |
|--|---------------------------|
| <分科会> 横浜のコミュニティ FM 大集合 (プレセッション) | |
| 東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階 学生カフェ 1/24 (土) 15:30-16:30 | |
| 個性あふれる市民放送局、ラジオの可能性を考えよう | |
| 横浜には、個性あふれる FM 局があつまっています。そして 2026 年春にはついに「FM 都筑」も開局。それぞれのコンセプトやイチオシ番組を紹介。みんなでつくるラジオの可能性を考えます。 | |
| 出演：F M Salus http://www.fm-salus.jp/ | |
| エフエム TOTSUKA http://www.fm-totsuka.com/ | |
| 横浜マリンエフエム http://www.marine-fm.com/ | |
| 金沢シーサイド FM http://www.kanazawa-seasidefm.co.jp/ その他 | |
| 司会：鈴木まひる (エフエム横浜 DJ) | ※ 25 日のメインセッション 3 につづきます! |

| | |
|--|--|
| <メインセッション 3> 「横浜のコミュニティ FM 大集合」 | |
| 日本丸メモリアルパーク訓練センター 1/25 (日) 11:00-12:00 | |
| 個性あふれる市民放送局、ラジオの可能性を考えよう | |
| 横浜には、個性あふれる FM 局があつまっています。そして 2026 年春にはついに「FM 都筑」も開局。それぞれのコンセプトやイチオシ番組を紹介。みんなでつくるラジオの可能性を考えます。(24 日の「プレセッション」の総括と、続きのディスカッションを行います!) | |
| 出演：【横浜のコミュニティ FM 局】 FM Salus、エフエム TOTSUKA、横浜マリンエフエム、金沢シーサイド FM その他 | |
| 司会：鈴木まひる (エフエム横浜 DJ) | |

| | |
|---|--|
| <メインセッション 4> 「震災とコミュニティメディア」 | |
| 日本丸メモリアルパーク訓練センター 1/25 (日) 13:00-15:00 | |
| なにゆえコミュニティ FM、臨時災害 FM なのか! | |
| 南海トラフ地震報道に代表されるように、日本ではどの地域であれ、いついかなる時に大地震に襲われないとも限りません。いざそうしたときに、住民のライフラインを維持する上で、コミュニティ FM や臨時災害 FM が果たす役割は極めて重要になります。また、被災後の復興やコミュニティの再生にも、ラジオから聞こえる声は大きな力になります。本セッションではまず東日本大地震でのコミュニティ FM や臨時災害 FM の活動を事例として紹介。またそこに能登半島地震後新たに立ち上がった局のレポートを加え、改めてその必要性や意義などを討議しながら、地域にとって重要かつ不可欠なメディアとしての役割を再認識し、理解を深めたいと考えます。 | |
| 出演：関本英太郎 (東北大学名誉教授、市民メディア交流協議会世話人) | |
| 阿部清人 ((株) M C ラボ代表取締役、元 FM いずみ、防災士) | |
| 大嶋智博 (放送作家、一般社団法人オナガワエフエム プロデューサー) | |
| 村上圭子 (メディア研究者、東京財団上席フェロー・広島大学客員教授) | |

<メインセッション 5>「市民メディアの持続可能性」

日本丸メモリアルパーク訓練センター 1/25 (日) 15:15-16:45

市民が安心・信頼できるメディアになるために！

市民メディアはさまざまな事業形態で運営されています。既存マスメディアや SNS などでは担いきれない地域の細やかな情報を扱うインフラとして認識されながら、いずれも経営規模は極めて零細です。市民の信頼を確保するためには「持続可能性」が求められる一方で、立ち上げまでの資金、開局後の安定した収益の確保は高いハードルとなり、「メディア砂漠化」（地域に根ざした報道機関の減少、住民が地元ニュースから取り残される現象）が社会問題になりつつあります。このセッションでは、コミュニティFM、タウン誌、ネットメディアなどの枠を超えて、その運営基盤をどのように確立させていくか、連携や新しいアイデアの可能性を議論していきます。

出演：杉浦裕樹（横浜コミュニティデザイン・ラボ）
 鈴木伸幸（FM 小田原代表取締役、元 JBCA 代表理事）
 門馬康二（タウンニュース横浜デジタル編集室長）
 船本由佳（メディアフェス横浜 2026 実行委員長）

<ワークショップ> しまんと新聞ばつぐを作ろう！

ニュースパーク 1/24 (土) 13:30-16:00

「新聞広告の日」の特別な紙面「ほぼ、じっすん、しんぶん。」で新聞ばつぐを作ります

10月20日は「新聞広告の日」。全国各地の新聞に掲載された「ほぼ、じっすん」写真の紙面で世界にひとつの新聞ばつぐを作りましょう。どんなふうにするか、ウデの見せどころ！
 しまんと新聞ばつぐとは？ :四万十川中流域・高知県四万十町で生まれました。読み終えた新聞とでんぶんのりで作る新聞ばつぐは、「モットイナイ」と「オリガミ」の精神がつまっています。新聞ばつぐを広める世界各地のインストラクターは 1000 人を超えました。

「ほぼ、じっすん、しんぶん。」ばつぐ展 1月25日(日) 10時~16時30分 全国のインストラクターが作った46都道府県の新聞ばつぐを展示します。



<ワークショップ> 市民ライターのローカルメディアコンパス体験会

ニュースパーク 1/25 (日) 14:00-15:30

最近気になる表現は？ ジェンダー・多文化・障がい…多様な生き方

取材活動を始めるとぶち当たる「こんなときどうする？」のあれこれ。主に横浜市・神奈川県内のウェブメディアやタウン誌、テレビ・ラジオ関係者などから集めた50近いエピソードを収録した「ローカルメディアコンパス」カードを使って、各地の市民メディアに関わる皆さんで経験を共有しながら、方針について話し合ってみませんか？ たとえばパートナーの呼称をどうするか、ほかの媒体とどう差別化するか、プライバシーをどこまで守るか etc..情報発信は日々判断を迫られることの連続。



今回メディアフェスでは、目的別ワークショップの中から「現場で考える私の方針」編を体験いただけます。

<分科会> いま読む『Designing Ours 自分たち事的设计』

横浜市寿生活館 1/25 (日) 11:00-12:30

故・渡辺保史氏のコミュニティへの問いかけについて考える

多くの人に影響を与えた『情報デザイン入門』（平凡社、2001）の著者、渡辺保史氏が、続編として構想した『自分たち事的设计〜創造するコミュニティ〜』は、2013年6月15日、くも膜下出血で倒れ絶筆となりました。その後2018年、PCから発見された原稿をもとにクラウドファンディングで出版されましたが、2026年6月、氏の十三回忌を前に新たに電子出版化のプロジェクトが立ち上がっています。発起人は北海道で多くの時をともにされた伊藤明彦氏。今回、伊藤氏が横浜に来られその意義を語ります。横浜は渡辺氏が生前最後のトークイベントを行った場所（「デザインの時〜渡辺保史さんと一緒に『自分たち事-個人と社会をつなぐデザイン』を考える〜」2013年5月31日@さくら works 関内）。ここ（メディフェス）から再び、未来のデザインにむけたコンセプトをつないでいきたいと思います。

出演：伊藤明彦（美術家、元東海大学）

<分科会> “ことぶき”を知ろう!“ことぶき”を考えよう！

横浜市寿生活館 1/25 (日) 13:00-14:30

さまざまな地域交流活動と横浜のもう一つの歴史

横浜市中区の寿地区は、労働者が集まる街。東京・山谷、大阪・釜ヶ崎とともに高度経済成長を支えた人々が、ここで生活を営んできました。そのいまリアルに息づく情景は、この国の社会福祉と住民参加による交流実践のあり方を私たちに問いかけます。“聞き書き”“読書推進”など、60年間拠点として支えてきた「寿生活館」、2019年に新たな施設として加わった「ことぶき協働スペース」の活動から、「ともに生きる」ことの意味を学びます。

<展示企画> NIE 神戸大会／市民メディアポスター展示

ニュースパーク 1/24(土)10:00-17:00、1/25(日)10:00-16:30

NIE 全国大会神戸大会や全国の市民メディアから募集したポスターを展示

「伝える」「防災」「メディアリテラシー」をテーマにNIE神戸大会で発表されたポスター（一部）と市民メディアから募集したポスターを展示します。

NIE（エヌ・アイ・イー：Newspaper in Education）は、教育現場で新聞を活用することで社会への関心を高め、生きる力を育む取り組みです。

<展示企画> 市民メディア全国交流集会 20年史展示

象の鼻テラス 1/24(土)12:00-18:00、1/25(日)10:00-17:00

ポスターでたどる“メディフェス”の足跡

2004年1月に名古屋で開催された第1回から2014年に大阪・立命館大学で開催された第19回まで、その足跡を8枚のポスターにまとめて象の鼻テラスに展示します。

＜分科会＞ 横浜発「市民メディアの映像作品ショーケース」

泰生ポーチフロント 1/25（日） 11:00-16:30

横浜発！市民メディア映像作品一挙上映

「横浜市民メディア連絡会」は2002年12月に発足し、2006年の前回の横浜での市民メディア全国交流集会を支えました。その後20年ちかく「横浜市民放送局」などを中心とした活動を続けてきましたが、近年は休眠状態に入っていました。しかし今回のメディアフェスで「復活！」—旧「連絡会」のなかで、とりわけ映像作品に取り組んできた会員を中心に、20年の間に制作してきた「珠玉の作品」を選んで一気に上映します。

出演：伊藤明彦（美術家、元東海大学）

【上映作品（一部）】

綱島温泉物語（28分）

鶴見川舟運物語（28分）

横浜スカーフ・伝統の手捺染（10分） ほか

＜本リリースに関するお問合せ先＞

市民メディア全国交流集会よこはま 2026 実行委員会

Eメール jimukyoku.medifes2026@gmail.com